

退院前カンファレンスについて

目的と意義

- ① 包括的な治療/ケアのために、多職種で共有すべき情報をわかりやすく提供する。
⇒誰に提供するのか？

<ul style="list-style-type: none"> ・ ご本人/ご家族 ・ 在宅ケアスタッフ(ケアマネージャー・在宅主治医・訪問看護師など) ・ 病院スタッフ(病棟担当・外来担当)
--
- ② ご本人・ご家族が、安心して退院できる。
- ③ 安定した療養生活(在宅だけでなく病院通院時の利便性・再入院のリスク軽減など)に有効。
- ④ 病院スタッフにとってメリットはあるのか？
⇒在宅生活をより明確にイメージでき、退院後の療養生活に必要な事項が入院中に再確認できる。
⇒ご本人・ご家族に、より感謝される。「私たちのために皆集まってくれた。」など

留意すること

- ① 他の出席者が理解しやすいよう、専門用語を使用しないよう心掛けましょう。
- ② 他の職種の意見を非難しない事。なごやかな雰囲気作りも重要です。
- ③ 時間厳守！！ 熱心なあまり時間を気にしない発言はご法度です。
- ④ 全ての問題点をこの会議で解決しようとせず、総合的な目標や重要な課題について共通認識ができればよいと考えましょう。

		発言者	発言内容		備考
1	出席者の紹介	司会者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席者の紹介と会議開催の目的について説明。 ・ 会議の終了時刻の確認。発言時間:概ね2分程度に。 	1分	なごやかに。きびきびと。
2	入院後の主な疾患の経過	担当医 (看護師)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患の経過と治療内容、今後の大まかな予後。 ・ 医師からみた、疾病管理の注意点。 	2分	簡潔に。わかりやすい言葉で。
3	現在の生活機能	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院中の日常生活動作や服薬管理、栄養状態、精神状態などについて、 	2分	プラス志向の表現で。
4	ご本人の希望	ご本人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院後の希望や心配なことについて 	2分	当事者のご希望をまず優先して伺う。
5	ご家族の希望	ご家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院後の希望や心配なことについて 	2分	
6	専門職からみた現状と今後の目標	リハビリ職 管理栄養士 薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・ (例)歩行・排泄など、しているADL⇔できるADLで差のある部分や入院中改善したところを特に説明。 ・ 退院後の目標について、専門職の立場で。 	2分	6)のあと、7)看護師より、それ以外の課題を包括的に説明。
7	在宅での課題	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主疾患の管理に関する課題。 ・ 運動/口腔/栄養/精神面(セルフケア能力)での課題。 ・ 介護負担など、環境面での課題。できれば対策も。 	2分	マイナスイメージを避ける。
8	在宅でのケアプラン	担当ケアマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な援助の方針について ・ 介護サービスの内容(概略) 	1分	大まかな方針のみ説明。
9	在宅療養の方針	在宅主治医	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の大まかな方針と病院スタッフへの質問 ・ ご本人、ご家族が安心できるような発言で 	1分	
10	病院スタッフへの質問	在宅スタッフ		3分	
11	在宅スタッフへの要望	病院スタッフ			

～I.C.F.を共通言語として念頭におき、発言しましょう。～